

住まいるカフェ 伝言板 第2回

岡山

開催報告とお役立ち情報

2023年12月7日(木)サービス付き高齢者住宅「アイグランデュ岡山」にて開催

第2回住まいるカフェ:「～備えあれば憂いなし～相続を踏まえた明るい終活」



12月にサービス付き高齢者住宅「アイグランデュ岡山」の多目的ホールをお借りして「第2回住まいるカフェ岡山」を会場12名、オンライン6名の計18名の参加者によって、開催いたしました。
人生100年時代と言われておりますが、残りの人生を悔いなく生きる為に日頃はぼんやり考えがちな「終活」について岡山県金融広報委員会の金融広報アドバイザー鶴田宣子先生を講師としてお招きし、「終活」の意味についてお話を伺いました。

充実した人生に必要なもの、それは…3つのM。何か分かりますか？

①健康/Medical②お金/Money③生きがい/Mindで、3Mです。どれが欠けても充実した人生は送れません。個人のバランスシートを作成して、形ある資産(お金やお家、自家用車など)無形資産(経験や健康、仲間など)がありますが、形ある資産だけでなく、無形資産を増やし豊かな人生を送りたいものです。



又、エンディングノートの大切さ=財産目録と言うほど大げさなくとも、どこかの生命保険や銀行口座かは分かるようにしておきましょう。特にネット銀行や証券は存在が分からなくなる可能性が高く、注意が必要です。

葬儀に来て欲しい方のリスト化(親戚を呼ぶにしても誰に連絡したら良いか)、菩提寺の連絡先、最近核家族化の影響で実家の宗派を知らない子供世代も増えているようで、どこかの宗派かを知らせておくのも大切です。

相続した土地の場所が分からないケースや所有土地の名義を放置したままだと2024年には相続登記が義務付けられるので、罰金対象になってしまう可能性も…。

葬儀についてもトレンドがあるようで、コロナ禍以降は約半数が親戚や家族のみで執り行う「家族葬」に「一般葬」からシフトしているようです。ただ、「一般葬」が向いている方もいるので、選択方法の考え方についても教えて頂き、参加の皆さまも非常に参考になさっておられました。

ゲンキな内にご家族へ思いを残しておくというのが非常に大きなポイントです。皆さま、参考になりましたか？



墓じまいについてのお話しもありました

■お墓の引っ越し

田舎のお墓を整理してお子様世帯近くへお墓自体を移してしまう
且那寺へ事前相談をしておきましょう。話を通しておかないと御霊抜きの際にトラブルになってしまうケースがあります。

■寄せ墓

昔は個人個人や夫婦単位の個人墓や夫婦墓が主流でした。墓地内にいくつもあるお墓を家のお墓としてまとめ、合祀する。

■永代供養

且那寺でお墓の管理を期限を定めて供養してもらうこと。多くは33回忌が節目となります。

■樹木葬

永代供養の場合もあれば、従来のお墓の代わりにシンボルツリー型にするケースもあります。永代供養型は樹木葬形式の永代供養ですが、シンボルツリー型は樹木の手入れが必要な場合もあるので、注意が必要です。

■散骨

海や山にお骨を撒くお弔い方法です。

※法律に規制はありませんが、お骨と分からない様な細かいパウダー状にする必要性があります。又、近隣住民が不快な思いをしないような配慮や自治体で禁止されている区域もある為、事前確認が必要です。



次回の住まいるカフェは…

2024年

5-6月下旬
開催予定

=お題は現在未定です=

詳細が決まり次第、別途お知らせ致します。

時間:現在調整中

場所:アイグランデュ岡山

岡山市北区奉還町1-3-18

※詳細が決まり次第、別途お知らせ致します。



JR「岡山」駅西口から線路に沿って北へ直進。「岡山駅西口交番」を過ぎ、「ローソン」を目印に左折すると右手に「アイグランデュ岡山」が見えて参ります。

皆さまからも

「●●について話し合ってみたい」など
様々なご意見をお寄せください。

住まいるカフェは、会場でのご参加と、パソコンから又はスマートフォンならGoogle meetを使用したオンラインでのご参加が可能です。

okayama-info@grand-unilife.com迄メール、又は

TEL:0120-583-165「高齢者住宅情報プラザ・住まいるカフェ実行委員会」までご連絡ください。

参加希望の方の
電話・メールを
お待ちしております。